

## 平成31年(令和元年)度(2019年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。

平成31年(令和元年)度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、工事数量の確定(精算)等によるものです。

平成31年(令和元年)度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が令和2年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が令和2年度以降計画的に実施されること、修繕事業や特定更新等工事では工程の見直し等で機構への帰属を令和2年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに、料金徴収期間満了までに必要となる額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成30年度まで(B)	平成31年(令和元年)度(C)	計(D)=(B)+(C)		
東日本高速道路	東北中央自動車道相馬尾花沢線 南陽高畠IC～山形上山IC新設事業	137,349	0	114,190	114,190	△ 23,158	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、南陽高畠IC～山形上山IC間供用に要した費用。
	北海道横断自動車道黒松内釧路線 銭函IC改築事業	3,832	0	3,195	3,195	△ 636	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、銭函IC切替に要した費用。
	北海道横断自動車道黒松内釧路線 手稲IC改築事業	1,543	0	1,051	1,051	△ 491	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、手稲IC供用に要した費用。
	東北中央自動車道相馬尾花沢線 山形PA新設事業	1,394	0	1,039	1,039	△ 354	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、山形PA供用に要した費用。
	一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路) 東金JCT～茂原南IC新設事業	25,239	21,285	3,558	24,844	△ 394	・差額は、工事数量の確定等による減。
	東日本高速道路株式会社管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	48,344	37,121	7,893	45,014	△ 3,329	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、2箇所の供用及び5箇所の本完了に要した費用。
	関越自動車道上越線 信濃町IC～上越JCT改築事業	87,362	44,910	28,282	73,193	△ 14,168	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、4車線化に要した費用。
	東関東自動車道千葉富津線 木更津南JCT～富津竹岡IC改築事業	33,402	11,635	20,749	32,384	△ 1,017	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、4車線化に要した費用。
	北関東自動車道 太田強戸PA新設事業	6,437	5,035	1,175	6,210	△ 226	・差額は、工事数量の確定等による減。
	東北横断自動車道釜石秋田線 横手北スマートIC改築事業	3,401	0	3,275	3,275	△ 125	・差額は、工事数量の確定等による減。 ・令和元年度の債務引受額は、横手北スマートIC供用に要した費用。
	東北横断自動車道いわき新潟線 田村スマートIC改築事業	3,226	2,676	195	2,871	△ 354	・差額は、工事数量の確定等による減。
	常磐自動車道 水戸北スマートIC改築事業	1,518	0	1,159	1,159	△ 358	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、水戸北スマートIC供用に要した費用。
	常磐自動車道 大熊IC新設事業	2,754	2,408	195	2,604	△ 149	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、橋梁拡幅工事に要した費用。
	常磐自動車道 常磐双葉IC新設事業	2,935	0	2,390	2,390	△ 544	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・令和元年度の債務引受額は、常磐双葉IC供用に要した費用。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 令和元年度修繕事業	172,269	—	133,660	133,660	△ 38,608	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	163,626	108,322	2,932	111,254	△ 52,372	・差額は、令和2年度以降の災害対応に要する費用。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 令和元年度特定更新等工事	207,104	—	19,205	19,205	△ 187,898	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。

注1) 平成31年(令和元年)度(2019年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成31年(令和元年)度に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成31年(令和元年)度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成30年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

注4) 特定更新等工事に関する債務引受限度額(計画)は、平成31年(令和元年)度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成30年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。